



別海町立中春別中学校



学校だより

令和2年9月2日 発行 校長 岩崎 撰也

## 『目に見える学力と目に見えない学力』

校長 岩崎 撰也

先日開催した第51回体育祭ではたくさんの保護者の皆さんにご来校いただき、生徒に温かいご声援をいただきましたことにお礼申し上げます。1学期間中はコロナウィルスの影響によりほとんどの行事を開催することができなかつたため、今年度初めての大きな学校行事となりました。お陰をもちまして、心配された天候も何とか持ちこたえて、生徒の頑張りや成長が感じられる充実した体育祭となりました。

さて、タイトルの「目に見える学力（認知的能力）」とは全国学力調査や学校で行うテストなど、数値化して見ることができる学力で、「目に見えない学力（非認知的能力）」は何かに取り組む意欲、誠実さ、忍耐力、コミュニケーション能力、リーダーシップなど多岐にわたる、いわば人生を切り開いていくための基盤となる能力です。学校で行う様々な行事の中で生徒たちのこうした非認知的能力をはぐくむ場面が数多くあります。コロナウィルスによる臨時休校で生徒たちの学習時間が削られた状況の中ではありますが、競技種目を少なくしたり、準備時間の縮減などを工夫したりしながらも学校行事そのものをなくすわけにはいかない理由がそこにあります。

学校では何かに取り組む際には目標を立て、こうなりたい自分をイメージして取り組みます。そして振り返りを行い「頑張ればできた！」と「実感」することで生徒たちの成長につなげています。例えば、今回の体育祭でのよさこい、長縄など団体で行う取り組みは生徒たちにとって決して簡単に成し遂げることのできるものではなく、それぞれに困難な壁や葛藤を感じながら仲間と協力することで生徒たちは一つ一つ壁を乗り越え、創り上げてきました。その意味では勝ち負けを超えて、「頑張ればできた！」を実感することのできる、大きな成果を残した体育祭になったと思っております。コロナ対策等で例年と異なる対応やご不便をおかけすることもあります。今後とも本校の教育活動にご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

